

第 4 5 1 回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答弁を求める者
1	7 番 高 橋 鈍 齋	<p>1. 公立刈田総合病院存続について</p> <p>市内全戸配布された広報しろいし9月号6ページに記載の公立刈田総合病院の存続に向けての内容について、お尋ねします。</p> <p>(1) 「8月4日、公立刈田総合病院を運営する白石市外二町組合の臨時議会が開催され、公設民営化を可能とする条例改正案が、賛成3、反対5で否決された。組合議会は、採決に参加しない議長を除いて、白石市議会議員6名、蔵王町議会議員1名、七ヶ宿町議会議員1名の計8名で採決。市議が賛成3、反対3に分かれ、蔵王町・七ヶ宿町の両町議が反対する結果となった」と記載されていますが、市長はこの結果をどう受け止めているのか、伺う。</p> <p>(2) 「持続可能な病院となるために、経営の改善は誰もが望むこと」として、「1市2町からの繰入金により9月の資金ショートは回避されたが、依然として資金繰りが厳しい中で刈田病院の今後の方向性を見いだしていく必要がある。現時点で、組合での公設民営化が否決されたことから、①組合のまま公設公営での改善策を見いだしていく方法と、②組合を解散して、市立病院として公設民営化を行う方法のいずれかの方法で刈田病院の存続を考えていく必要がある」と記載されていますが、この、それぞれの方法について、どのように検討しているのか、伺う。</p> <p>(3) 「市立病院とするためには、1市2町の各議会において組合の解散に合意する議決が必要となる。本年2月に両町長から「組合を解散して、市立病院とすることを目指してはどうか」という提案があり、市立病院への移行検討を行ってきたが、解散の議決には、財産や借入金などの処分に関する合意も必要となり、市立病院移行にも相当の時間が必要」と記載されていますが、市立病院移行にどのくらいの期間を想定しているのか、伺う。</p> <p>(4) 「現在、白石市の組合への負担割合は86.7%だが、市立病院となれば100%を負担することとなり、公設民営化により経営が改善されたとしても、市立病院となることによる負担リスクを比較・検討する必要がある」と記載されていますが、市立病院になった場合、これまで以上に白石市民の負担が増えるのではないかと、伺う。</p> <p>(5) 「9月の資金ショートが回避されたとしても、現在の体制を続ければ、刈田病院の赤字額が増え続けることは明らかであり、病院の赤字は1市2町の負担・市民の負担となる。刈田病院の存続とともに、</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	7番 高橋 鈍 齋	経営の改善は誰もが望んでいること。引き続き1市2町で協議を重ねる」と記載されていますが、どのように協議を進めて行く考えなのか、改めて、市長の考えを伺う。	市 長
		<p>2. スパッシュランドしろいしについて</p> <p>(1) 白石市で震度5強を記録した2月の地震で休業していた「スパッシュランドしろいし」のプールが7月31日に、約5か月半ぶりに再開した。市は時間がかかる大規模な工事を行わず、ネットを張る方法で間に合わせたとのこと。このネットの安全性について、お尋ねします。</p> <p>① 張り巡らしたネットはどのぐらいの重さに耐えるよう設計されているのか、伺う。</p> <p>② 工事が終了し、その確認や点検は最終的に誰が行ったのか、伺う。</p> <p>③ このネット工事で差し当たり、当分の間安全は保持されると考えてよいのか、伺う。</p> <p>(2) 2020年度末の休館方針がオリンピックの延期に伴い、1年延期されてのその後について。</p> <p>① 現在、新型コロナウイルス感染拡大の状況で、市民の健康や生活に影響を及ぼしており、こうした事態に対処するための「命と健康を守る施設」とも言えるのではと思うが、市長の見解を伺う。</p> <p>② 市長は、「財源がない」「国の補助金がなければ」などばかりでなく、自ら、何らかの具体策を示しながら、今後どう活用するかなどについて、専門家等の意見を聞くなど、市民の宝物となるような施設によみがえらせて見せるとの意気込みはないのか、伺う。</p> <p>③ スパッシュランドのプール利用者からは、「オリンピックが終わり、3月にはやっぱりスパッシュランドは休館するのか」との落胆の声があるようだ。スパッシュランドが再開した際の河北新報8月1日付の記事では、「スパッシュランド歓声再び」「子どもプールのウオータースライダーでは歓声が上がった」との内容で、「子どもプールのウオータースライダーを楽しむ親子の笑顔」の写真が掲載されており、利用者が「やっただね」と言うなど、喜びの声が上がっている。さらに、記事では、「市は多額の維持修繕費などを理由に、本年度末で施設を休館する方針。市担当者は継続策を探っていきたいと話した」とあるが、スパッシュランドしろいしの休館については、当面延長、あるいは、施設休館先延ばしで、今後の状況の推移を見ながら考えていくつもりはないか、伺う。</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	2番 佐藤龍彦	<p>1. 本市の教育について</p> <p>昨年からの新型コロナウイルス感染拡大により、学校生活は一変し、児童・生徒、保護者、教職員の皆さんは大変苦勞されています。そのような中、先日、文部科学省は小学6年生と中学3年生の全員を対象に実施した2021年度全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果を公表しました。テストの結果公表当日の民放テレビでも報道され、翌日の地元紙には、都道府県別の成績の一覧表が掲載されていました。また、村井知事も定例記者会見で学力格差の要因は「分からない」「子供たちが等しく学力を伸ばすことが重要。点数が良い地域の良い面を参考にして横展開してほしい」と語ったと報道されていました。本市は市独自の実力テストを導入し、また、英検・漢検・数検の受検者に対し受検費用の半額を補助するなど、学力向上に取り組んでいます。そこで本市の教育についてお聞きいたします。</p> <p>(1) 英検・漢検・数検について、今年度のこれまでの実績や今後の見通しについて伺う。（受検者数・実施回数等）</p> <p>(2) 本市の全国学力テストの結果を伺う。</p> <p>(3) 全国学力テストの結果をどのように認識しているのか伺う。</p> <p>(4) 全国学力テストの結果を受けて、今後どのように対応していく考えなのか伺う。</p>	教育長
		<p>2. スパッシュランドについて</p> <p>第449回定例会に引き続き、スパッシュランドしろいしについて質問させていただきます。スパッシュランドは2月の福島県沖を震源とする地震により休館し、その後プールを除き再開しました。7月31日には50メートルプールも再開し、スパッシュランド「友の会」の皆さんも大変喜んでいました。再開したスパッシュランドには市内外から多くの方が訪れ、大盛況だったとお聞きしています。しかし、8月30日から新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言により、残念ながら再度休館となってしまいました。そこで、次の点についてお聞きいたします。</p> <p>(1) 50メートルプールがオープンした8月以降のスパッシュランドの入館者の状況を伺う。</p> <p>(2) 再開後のスパッシュランドの入館者の状況を市はどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 現在、スパッシュランドの入館者を増やすための</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	2番 佐藤龍彦	<p>新たな取組は考えているのか伺う。</p> <p>(4) 今年の小中学校のプールの授業等（夏休みのプールの開放状況）はどのようにされていたのか伺う。</p> <p>(5) スパッシュランドを小中学校のプールの授業へ積極的に活用することについての見解を伺う。</p> <p>(6) 第449回定例会以降、スパッシュランドを存続させるため市長はどのような対応をされたのか伺う。</p> <p>(7) スパッシュランドの今後について伺う。</p>	市長 教育長
3	9番 平間知一	<p>1. 地域医療について</p> <p>現在、公立刈田総合病院の職員は病院管理者である白石市長が進めている公設民営化議論の影響による雇用環境への不安を抱えながら、昨年から続く新型コロナウイルス感染症対応と通常診療の維持に向けて、患者としっかり向き合い業務に取り組んでいます。また、公設民営化議論の影響で、経営状況、医療提供体制は重点支援区域申請時の想定とは大きく乖離しています。刈田病院の今後のあり方については、3市町で検討しているようですが、次の点について質問します。</p> <p>(1) 地域医療構想について</p> <p>市長は、地域連携を進める中で、白石市の財政が破綻してしまう不安だけが募り、この地域の住民の生命と健康を守ることは置き去りにされているように思います。9月の広報しろいしにも刈田病院について掲載されていますが、具体的な対策を求めてくださいとの市民の声がありましたので、伺います。</p> <p>① 市長は、これまでも刈田病院を守る責任があるとしていますが、住民が必要とする病院の機能維持（役割）に向けた考えを伺います。（特に政策医療である救急医療や感染症病棟はコロナ感染症が増えてきているので、刈田病院の役割は大きいと思うが）</p> <p>② 市長は、みやぎ県南中核病院との機能分担による連携は重要であり、継続して進めていく姿勢であると理解していますが、現在も現行の刈田病院の診療科の維持を基本に、連携を進めるとの考えで変わりはないか伺います。</p> <p>(2) 公設民営化に対するこれまでの発言について</p> <p>令和3年2月白石市外二町組合議会臨時会において、管理者が条例の専決処分を撤回し、組合を解散して市立病院にすると表明しましたが伺います。</p> <p>① これまで、市長は、白石市議会全員協議会などで、白石市の負担が増える場合は、指定管理者制度をやらない、やれないとしたこれまでの発言に今も</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	9番 平間知一	<p>変わりはないか、伺います。</p> <p>② 6月の組合議会全員協議会で、私が病院の繰入れについて行った質問に対し、現状の6億の繰出金が判断基準額ではなく、平成29年度の16億円を持ち出しました。山田市長の言う「現状より持ち出しが増える場合公設民営化はやらない」との発言の判断基準となる額は一体いくらなのでしょう。これについて明確な数字を示さなければ判断のしようがないと考えますが、伺います。</p> <p>③ 市長が公設民営化を検討する最大の理由は、白石市が以前のおりに繰り出した場合、白石市の財政状況は危機的状況になることから、公設民営化を訴えているものと理解しています。しかし、現状で白石市外二町組合を解散し、白石市単独での運営による指定管理者制度となった場合に、現状の医療体制を維持し、さらに市長の選挙公約である周産期医療を復活させるには、現状より更に負担が増えることは明らかだと考えますが、公設民営化となった場合も現在の診療体制が維持され、白石市の負担も減少できるとする明確な説明とその根拠を伺います。</p> <p>④ 8月4日の組合議会で再び白石市外二町組合病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案が否決されたことで、白石市外二町組合での公設民営化は、今はできません。つまり、これまで1市2町での確認のおり、白石市外二町組合を令和4年3月末で解散した場合、4月から刈田病院職員は一旦、白石市職員となるとの理解で良いか、伺います。</p> <p>⑤ 令和4年4月以降、白石市単独で公設民営に向けてプロポーザルによる公募をした場合、公募が不調に終わるケースも当然あると考えますが、その場合は公設公営の白石市民病院での運営となるのか、伺います。</p> <p>(3) 公立刈田総合病院運営検討委員会について 6月23日に運営検討委員会の中間報告が出され、3点に渡る中間報告の骨子が示されました。資金不足の解消策の策定やその後の資金不足解消計画の策定などを早急に示すよう報告されていますが、運営形態の抜本的改正については、意見が一致していないものと受け取れますが伺います。</p> <p>① 白石市外二町組合を解散し、白石市民病院となり白石市単独運営となった場合に、これまでの病院の100億円にも及ぶ建設債や金融機関借入れ、コロナ減収債などの償還方法などで、白石市の負担は莫大なものになると考えられますが、過去の清算と将来の負担についてどのように検討しているのか、明確な回答を求めます。(組合を解散するためには1市2町それぞれで「解散の議決」と「財産処分の議決」をどうするか決まらなると解散でき</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	9番 平間知一	<p>ないと思う)</p> <p>② その負担は、市民生活にも影響を及ぼす規模と考えますが、市民への説明はどのようにされるつもりか伺います。</p> <p>③ 資金ショートとなれば市長が常々言っている、市民の命と健康を守ることを放棄することになるのではないのでしょうか。資金ショートの可能性がある中、どのように医師を雇用し、医療従事者の雇用を維持する考えなのか、資金ショートと回避策を明確にお示してください。</p> <p>(4) 医師確保 1,100 万円について 第 447 回定例会で、刈田病院の医師確保に向けて、白石市が 1,100 万円もの予算を計上してナショナルトラストに医師の紹介を依頼し、福岡市に拠点を置く相生会から医師 4 人が着任しました。給与は、相生会側が負担するもので極めて異例のケースだと思いますが、医師が確保できたことは地域医療のためにも喜ばしいことだと思っています。 そこで伺います。</p> <p>① 白石市の医師紹介業務が機能し、刈田病院は、9 月 1 日現在、常勤医師 10 名、任用医師 3 名、相生会医師 4 名の合計 17 名体制ですが、相生会からの派遣医師 4 人の内 2 名は刈田病院の状況を調査し、今後どのような体制で支援するかを調査するため短期滞在とし、直接診療には当たっていないとのことです。そこで、白石における滞在費については病院が負担するとのことです、その理由について伺います。</p> <p>② 相生会の先生方は期限付きであり、9 月で帰るとのことです。ナショナルトラストの方は 1 年契約です。今後、ナショナルトラストの方で、もう少し病院の立て直しに何か力を貸してくれるのか、アドバイスをしてくれるのか、また医師を探してくれるのか伺います。</p> <p>③ 市長が、地域医療構想に基づく重点支援区域の枠組みである公設公営同士の病院の連携を否定していることにより、東北大学から来られている医師の離職が今後も危惧されます。これでは、白石市が単独で拠出した 1,100 万円の効果がかなり薄れていると認識しますが、管理者である市長の見解を伺います。</p>	市長
4	17番 佐藤秀行	<p>1. 益岡公園野球場について</p> <p>益岡公園野球場は、平成 28 年度から国の「防災・安全社会資本整備交付金」の事業支援を受け、令和 3 年 3 月リニューアルオープンいたしました。これまでも多くの市民に愛され利用いただいています。また、災害時の避難場所としての機能も有しているため、地域住民の安全・安心の確保の面でも大きな効果をもた</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	17番 佐藤秀行	<p>らしています。 そこで、オープンから半年が過ぎ、改めて利用状況等に関連してお伺いします。</p> <p>(1) 利用されている市民からどのような声があるのかお伺いします。</p> <p>(2) それに対してはどのように対応されているのかお伺いします。</p>	市長
		<p>2. 不登校問題について</p> <p>富谷市富谷中学校（250人）が、不登校の生徒の実態に配慮した特別な教育を実施できる不登校特例校（20人程度）として、文部科学省の指定を受けました。県内初の事例で、2022年4月の開設を目指すということです。富谷市内では例年、中学生の4%に当たる80人程度が不登校の状態になっています。市は主に市教育支援センターで、不登校の児童・生徒や保護者を対象に、学習や相談などのサポートを実施してきました。近年、不登校となる生徒が減らず、同センターに寄せられる相談が増える傾向にありました。</p> <p>宮城県の中学生の不登校数は全国ワーストであり、平成28年～令和元年に4年連続で不登校生徒数（1,000人当たりの不登校児童・生徒数）は全国ワーストとなっています。不登校の理由は子供一人ひとりそれぞれ違う、ということですが、その要因については様々で、多様化・複雑化しています。本市にとっても不登校問題は、大きな課題の一つであります。子ども心のケアハウスに通所し学習支援を受ける児童・生徒も増加傾向にあります。</p> <p>そこで次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 県内初の事例で、不登校の実態に配慮した特別な教育を実施できる不登校特例校として、文部科学省から指定を受けました。このことについてどのような感想をお持ちなのかお伺いします。</p> <p>(2) 本市の不登校の実態について、具体的な児童・生徒数についてお伺いします。</p> <p>(3) 各学校の現状、それに対する取組についてお伺いします。</p> <p>(4) 心のケアハウスに寄せられる相談については、どのような内容なのか、またそれにどのように対応しているのかお伺いします。</p> <p>(5) 不登校傾向の児童・生徒が昨年度より増加傾向にあります。心のケアハウスの職員を増やす、特に女性職員などの採用についてはどのようにお考えか、</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	17番 佐藤秀行	<p>所見を伺います。</p> <p>(6) 別室登校が増え、不登校傾向の生徒がさらに増えているという学校もあると聞きます。このような学校について、これからさらなる増加、そして教職員の負担が懸念されます。今後どのように支援して行こうとお考えなのか伺います。</p>	市長 教育長
5	18番 松野久郎	<p>1. 防災・減災への取組について</p> <p>近年、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化しており、今後、地球温暖化に伴う気候変動により、極端な降水がより強く、より頻繁となる可能性が非常に高いとされております。これから、台風シーズンに入り、特に水害に対して脆弱な国土構造において、比較的発生頻度の高い降雨等に対しての本市の対策について質問いたします。</p> <p>(1) 令和元年度の台風19号では大きな被害が出ました。被災した箇所の整備状況と強靱化等による減災への取組状況について伺います。</p> <p>(2) 熱海市伊豆山で発生した土石流災害における盛り土問題を受けて、本市の状況及び対応について伺います。</p> <p>(3) 第六次白石市総合計画の「分野目標4安全・安心を守る」「4-1防災・減災対策の充実」から現状の取組状況について伺います。</p>	市長
		<p>2. 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>ホワイトキューブでの集団接種は、9月30日までで1回目の接種が完了し、接種終了時期が10月30日までとなります。 このことを踏まえ質問いたします。</p> <p>(1) 33歳以下の方への接種券送付をし、現在までの予約状況について伺います。</p> <p>(2) 市の幼稚園、保育園、小中学校の職員への優先接種を実施したと思いますが、接種状況について伺います。</p> <p>(3) 小中学校における新型コロナウイルス感染症対策について伺います。</p> <p>(4) 白石市医師会個別接種実施は、12医療機関で行われていると思いますが、その予約状況について伺います。</p> <p>(5) 働き盛りの世代では、日曜や祝日、または夜間の</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	18番 松野久郎	<p>時間帯での接種ができないのかというご意見もありますが、その対応をお考えなのか伺います。</p> <p>(6) 集団感染防止のため、幼稚園、保育園、小中学校、高齢者施設の職場等での定期的なPCR検査が必要だと思いますが、市長の所見を伺います。</p>	市長 教育長
		<p>3. 空き家等対策の現状と課題について</p> <p>空き家等対策計画は平成29年から目標とした5年間は今年度になります。</p> <p>そこで、これまでの取組状況について質問いたします。</p> <p>(1) 市内においては空き家が目立っております。管理不良のまま放置された空き家に不安を感じる市民は多い状況です。今後さらにこの問題が広がっていくことは間違いないものと考えています。市はこの問題に対し、具体的にどのように対処しているのか伺います。</p> <p>(2) 市では、平成28年度民間会社に委託し、道路の通行や隣接地利用者等の第三者に危害を与えている可能性のある建物が377棟（延べ558箇所）見つかっております。この5年間にどのように、どのくらい対処したのか伺います。</p> <p>(3) 市内の空き家となっている、住宅の有効活用を目的として、空き家を売りたい・貸したい方と買いたい・借りたい方のマッチングを行う空き家情報登録制度の活用状況について伺います。</p>	市長
6	16番 菊地忠久	<p>1. 防災・減災について</p> <p>近年、我が国は各地で自然災害が多発化、激甚化しています。また今後、災害の複合化、広域化する懸念も指摘されています。本市においても令和元年10月の台風19号の豪雨によって大きな被害を受けました。</p> <p>市民の命と安全を守るために、災害発生時には迅速かつ的確な対応が求められるとともに、日頃から災害に備えていかねばなりません。時間が経過すれば災害を経験していない世代が増加したり、たとえ被災地といえども災害は風化してしまい、いざというときに過去の教訓が生かされない恐れがあります。そのためにも、日常の防災・減災教育は重要です。</p> <p>(1) 兵庫県豊岡市では、平成16年の台風23号によって甚大な被害を受けました。翌年から過去の被害を振り返り、教訓を次世代につなげるため、10月20日の台風23号メモリアルデーに、市内の全ての幼稚園と小中学校で防災・減災授業を実施していま</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	16番 菊地 忠久	<p>す。本市も令和元年の台風19号が発生した10月12日をメモリアルデーに定め、改めて防災教育を強化すべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>(2) 避難訓練や教育現場で、AR(拡張現実)やVR(仮想現実)を取り入れたリアリティーのある災害疑似体験を行う団体が増加しており、より自分事として災害への認識が高まる成果が上がっているそうです。本市でもARやVRを使った疑似体験を通じて、これまで以上に災害への意識を高める必要があると考えますが、所見を伺います。</p> <p>(3) 本市ではここ数年、マンホールトイレや段ボールベット、液体ミルク等、様々なニーズに応えた新たな備品や備蓄の導入を進め、災害に備えているところです。</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時、危険な場所にいる人は避難することが原則であり、避難所での感染症対策も重要になっています。本年2月13日に発生した福島県沖地震の際、相馬市の避難所ではテント型パーティションを設置したことで、感染症対策はもちろん、プライバシー保護にも大きな効果を発揮したそうです。本市でもこのテント型パーティションを導入すべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>② 災害用の特別なものを用意して「備える」のではなく、普段から便利に使えて、災害時には身を守る、日常時のフェーズと非常時のフェーズを分けるのではなく、日常時にも役立つ非常時にも備えることができる「フェーズフリー」という概念があります。例えば、普段はデスクライトで、災害時は取り外して懐中電灯として使用できるライトや災害時はバケツとして水を運べるバッグなど「フェーズフリー」の商品も数多く販売されています。本市においても、各施設の備品購入・更新時の際、積極的にフェーズフリー商品に切り替えるべきと考えますが、所見を伺います。</p>	市長 教育長
		<p>2. 学力向上について</p> <p>8月31日、文部科学省は本年5月27日に実施した令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。宮城県の平均正答率は小中学校全4科目で全国平均を下回りました。</p> <p>(1) 本市の全国学力・学習状況調査の結果について伺います。</p> <p>(2) 本市では令和元年度より「学力向上プロジェクト」をスタートさせ、学力向上に取り組んでいるところです。これまでの成果について、特に埼玉県と</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	16番 菊地忠久	<p>共同で実施している本市独自の学力テストの成果について伺います。</p> <p>(3) 今後、より学力向上を図るためには何が必要と考えているか、所見を伺います。</p>	教育長
7	1番 高子秀明	<p>1. 本市の財政運営について</p> <p>今定例会において令和2年度一般会計・特別会計・公営企業会計の決算審査が行われているが、昨年度及び今年度も新型コロナウイルス感染症拡大により、思い描くような行財政運営ができない状況が続いているため、予算の未執行も多く、一般会計における歳入歳出差引額は6億7千6百万円を越し、特別会計を含めれば差引額は8億7千6百万円余りである。しかし、前述の状況と国庫支出金の増大など、図らずとも差額が生じてしまう明確な要因があるとしても、行政サービスの低下を市民に抱かせるような財政運営においては問題視せざるを得ない。土木費の予算執行率は69.98%、災害復旧費の執行率は56.12%と、数値的にも、目に見える形で市民の要望に応えられない現実がここ数年にわたり存在する。</p> <p>そこで本市の財政運営についての質問を、市民の声も交え、以下のとおり行う。</p> <p>(1) 本市財政の課題と今後の展望を伺う。</p> <p>(2) 県内35市町村と比較した場合の本市財政状況について見解を伺う。</p> <p>(3) 土木費及び災害復旧費の予算執行率が低いことに関する見解を伺う。</p> <p>(4) 一般会計に多額の不用額、合計6億4千3百万円を越す金額が生じていること認識において、市民目線で、単に行政サービスの低下と見られかねない見解を伺う。</p> <p>(5) 市長が、様々な場面で「非常に財政状況も厳しい」また「大変厳しい財政状況が続いている」などと公言しているが、本市の財政状況が厳しいと言うその根拠を伺う。</p> <p>(6) 市長自ら本市財政が厳しい状況であると公言することについて、市民感情への影響をどのように受け止めているか伺う。</p> <p>(7) (仮称)白石中央スマートインターチェンジ設置に関する周辺整備に多額の費用を見込み、計画を進めることにより生ずる将来の財政負担をどのように受け止めているか見解を伺う。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
7	1 番 高子秀明	<p>(8) 本市の基金運営状況について、令和2年度末で21の各基金が合計84億円を超える残高となっているが、目的別とはいえ、年々積み重なる基金の今後の運営をどうするか伺う。</p> <p>(9) 目的別基金の統合及び一部処分または全部処分等、見直しを進めるべきではないか、見解を伺う。</p> <p>(10) 冒頭述べた令和2年度一般会計歳入歳出差引額の状態を鑑み、結果的には公立刈田総合病院へ繰出金を増額できたと見て取れるが、今年度末についても昨年度と同様な状況になると予想される。どのような認識であるか伺う。</p>	市長
8	1 2 番 四 竈 英 夫	<p>1. 新型コロナワクチン接種について</p> <p>新型コロナワクチンの接種が5月31日から始まり順調に進んでいることは喜ばしい限りであります。その陰には職員の皆様を始めとする多くの関係者の方々のご労苦とお力添えがあり心から感謝申し上げます。当初は75歳以上の高齢者から接種が始まり若年層へと進んでいることと思っておりますが、一日も早く全員への接種が終わり、感染予防が図られることを心から願っております。しかし、本県は9月12日まで緊急事態宣言対象となり、その後はまん延防止等重点措置となっております。本市における感染者も収束の兆しが見えず憂慮されます。</p> <p>そこで、次の点についてお伺いいたします。なお、第449回定例会でも同様の質問をいたしました但改めて現時点での状況についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 現在までの接種の進行状況をお伺いいたします。</p> <p>(2) 今後の接種計画についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 接種が完了するのはいつ頃を予定しているかお伺いいたします。</p> <p>(4) ワクチンの供給は十分なされているかお伺いいたします。</p> <p>(5) 一部のワクチンに異物が混入されていたとの報道がありましたが、本市においてはどうだったかお伺いいたします。</p> <p>(6) 接種後異常反応が起こったケースはなかったかお伺いいたします。</p> <p>(7) ワクチン接種は任意であるため接種を受けない方もいるかと思っております。接種を受けることのできる方でまだ受けていない方は何人ぐらいで、年代の割</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	12番 四 籠 英 夫	<p>合はどのようになっているのかお伺いいたします。</p> <p>(8) ワクチン接種を受けていない方への接種の呼びかけ啓蒙などはなされているかお伺いいたします。</p>	市長
		<p>2. デジタル推進課設置による業務の効率化について</p> <p>政府は9月1日にデジタル庁を発足させました。スマートフォンがあれば、役所に行かなくてもいろいろな手続きができるオンライン社会を目指して、システムの統一、標準化やマイナンバーカードの普及に取り組むことなどを目指しております。</p> <p>本市においても政府の方針に呼応して、今年度からデジタル推進課を設置し業務を開始しており、時宜を得た対応であると思います。しかし、業務の全体的なイメージはつかめても、具体的な内容はなかなか理解できないのではないかと思います。</p> <p>つきましては、市民の皆様に業務の内容を理解してもらうとともに、その必要性和効果やメリットなどを広く認識していただくことが重要だと思います。</p> <p>そこで、次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) デジタル推進課の主な業務内容についてお伺いいたします。</p> <p>(2) デジタル庁との関連性についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 市民とはどのような関わりがあるのかお伺いいたします。</p> <p>(4) 業務のデジタル化が進むことによって市民はどのような恩恵を受けることができるのかお伺いいたします。</p> <p>(5) デジタル化を推進して行くためにどのような対策を取られるのかお伺いいたします。</p> <p>(6) どうしてもデジタル化に馴染めない場合には、どのような対応をされるのかお伺いいたします。</p> <p>(7) マイナンバーカードの申請件数と普及率をお伺いいたします。</p> <p>(8) マイナンバーカード未申請の方への対応についてお伺いいたします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	12番 四 竈 英 夫	<p>3. 持続可能な開発目標(SDGs)への取組について</p> <p>人権や環境など持続可能な開発目標(SDGs)には、命(生命、健康)や生活(経済、労働、教育福祉など)17項目の目標が掲げられております。「誰一人取り残さない」という理念のもとに進められる計画で、その効果が大いに期待されます。本市でも第六次白石市総合計画の中に取り上げ、達成に向けての取組がスタートしておりその成果が注目されます。計画達成のためにはSDGsの理念や目標を広く共有して行くことが大切と言われております。</p> <p>そこで、次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 17の目標に対しての具体的な施策をお伺いいたします。</p> <p>(2) 行政のみならず市民と一体となった取組が必要と思いますが、どのような形で理解と協力をお願いして行くのかお伺いいたします。</p> <p>(3) 目標達成の進捗度などの検証はどのようにして行うのかお伺いいたします。</p>	市長
9	13番 大 森 貴 之	<p>1. 水道事業の強化について</p> <p>(1) 宮城県においては令和4年より「上工下水一体官民連携運営事業」いわゆる《みやぎ型管理運営方式》へ移行する方向で動いておりますが、これに伴い当市における上下水道事業、特に水道事業への影響が考えられます。これは本市においては、自己水源と「県が浄水した水を有料で受水し」、供給しているからです。令和3年版の「白石市水道ビジョン第2章」『⑭効率的な県水と自己水源の活用』においても、「県受水と自己水源の比率について検討し、県との協議を進める」との記載があります。今定例会初日に行われました、監査意見開陳において『仙南・仙塩広域水道の契約水量及び受水料金の見直し等により、1億1千80万4千余円減少した』との発表がありました。これを踏まえお伺いします。</p> <p>① 県との協議は定期的に行われていると思いますが、現在の状況をお伺いします。</p> <p>② 6月の定例会でも確認させていただきましたが、年間総配水量のうち、約40%前後が県受水となっております。県受水単価の引き下げは本市にとって大きな負担軽減となりますが、単価引き下げは仙南・仙塩広域水道事業所及び関係市町村との調整・合意が必要となり、実施が容易ではないことは十分に理解しております。その上で、さらに力強く協議を進めていただきたいのですが、ご見解をお伺いします。</p> <p>(2) 自己水源量確保の観点から以下の質問をします。</p> <p>① 人口動向の上から令和12年度には現在の自己水</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	13番 大森貴之	<p>源量で賄えるとの試算がありますが、(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺整備等に伴う交流人口関連の水需要は考慮されているのでしょうか。お伺いします。</p> <p>② 現在の水利権量に対する自己水源量利用率はおおむね90%に達しており、仮に100%利用したとしても令和2年度換算で年間「109万立米」を県受水に頼らざるを得ない状況が続いております。県受水費の減額交渉をする上で決して良い内容とは言えません。協議を進めて行く上で今重要なのはこの県受水量割合を少なくし、自己水源水量の割合を高めていくことと考えます。渇水対策や非常事態に安定した水の供給を可能にするためにも県受水が必要なのは言うまでもありませんが、自己水源量で100%賄える体制の構築があつての県受水であるべきと考えます。第449回定例会においても、「水利権の同意を含め施設改修計画・検討及び工事が必要である」との答弁をいただいておりますが、明年4月のみやぎ型管理運営方式に移行することを踏まえ、自己水源水量の拡充対策を早急に実行すべきと考えますが、ご見解をお伺いします。</p> <p>(3) 無効水量の改善についてお伺いします。 無効水量、いわゆる漏水量を削減するには管路の更新が重要ですが、白石市水道ビジョンでは管路更新延長を年間約3キロメートルとし標準化を図っております。本市布設済み配管は約327キロメートルあり、法定耐用年数上、今後130キロメートル余りの更新が必要となっております。標準化して施工した場合は令和43年までの期間を見込んでいます。管の布設年度や漏水発生率等を考慮し優先順位をつけて更新していただいておりますが、予防保全の割合を高め、極力事後保全での対応を少なくするべきと考えますが、ご見解をお伺いいたします。</p> <p>(4) 給水車両の運転操作についてお伺いします。 給水車両の運転は、給水タンクが空もしくは満タン時においては特に支障ないと思われませんが、半分程度の状態での発停操作ではウォーターハンマーを受けたような衝撃を受け、ハンドリングにおいては予想以上の遠心力を体感します。現在上下水道事業所には14名の職員が配置されておられ、給水車両は車両総重量が5トン未満のため「準中型免許」を所持していれば道路交通法上運転可能ですが、取り扱いはどのようになされておるのかお伺いします。</p>	市長